

11連隊広報誌



おじろわし

創刊100号



第三十二代

連隊長

宮内一佐 着任



8月1日(火)、第三十二代連隊長、宮内雅也一佐の着任式が執り行われた。

連隊長要望事項として「精強無比」を掲げた宮内連隊長は、「第十一普通科連隊は、我が国唯一・最大・最強の機械化連隊として、変転する状況にも即応し軽快機敏かつ融通性をもって行動できつつ、最後の一兵となっても任務を継続できる強靱不撓な敢闘精神を併せ持つ、師団の基幹となる機甲部隊でなければならぬ。名実ともに我が国最大・最強の機械化連隊となるべく、諸官一人一人が「精強無比」、他に比類無き精強性を実践することを要望するとともに、その実践を通じ部隊・隊員それぞれが輝かしい活躍を続け、更なる第十一普通科連隊の伝説を築き上げていくことを期待する」と、着任の辞を述べられ、隊員一同、身の引き締まる思いで、精強無比たる連隊を築き上げるべく、その言葉を胸に刻んだ。

【発行所】
おじろわし発行委員会
【制作・編集】
第11普通科連隊
第1科広報班
【印刷所】
(株)フロンティア印刷

- (第1面)
「第32代連隊長
宮内1佐着任」
- (第2面)
「11戦闘団訓練検閲」
「重迫撃砲中隊訓練検閲」
- (第3面)
「師団施設訓練」
「偵察部隊合同訓練」
「豪州射撃連隊練成訓練」
「平成29年度
富士総合火力演習」
- (第4面)
「11連隊創隊記念行事」
「第35期レンジャー養成教育」
「装甲人員輸送車浮航訓練」
- (第5面)
「北海道ガス隊内生活体験」
「新千歳空港防災訓練及び
千歳市防災訓練」
- (第6面)
「千歳機甲太鼓演奏支援」
「千歳市民納涼盆踊り大会」
「郷土の伝統芸能研修
奴道中」
- (第7面)
「人事便り」
「定年退官者紹介」
「あんなこんなソルジャー」
- (第8面)
「NET99便り」
「普友会コーナー」
「担当者の独り言」



副連隊長 竹内二佐 着任 (富士学校から)

前連隊長

中力1佐は

11旅団司令部

真駒内へ

前副連隊長

中塚1佐は

東北方面総監部

仙台へ

- 連隊行事予定
- 【10月】
・下車戦闘射撃競技会
 - 【11月】
・秋季演習場定期整備
・連隊銃剣道大会
 - 【12月】
・年忘れ行事



夜間の公道機動を開始する本管中隊



JRによる人員輸送(4中隊)



ヘリによる空路輸送(6中隊)

また、人員の機動は装輪車による自走及びJRによる陸路のほか、ヘリでの空路輸送も行われ、多くの人員・車両を異状なく矢白別演習場へ機動させた。

また、人員の機動は装輪車による自走及びJRによる陸路のほか、ヘリでの空路輸送も行われ、多くの人員・車両を異状なく矢白別演習場へ機動させた。

また、人員の機動は装輪車による自走及びJRによる陸路のほか、ヘリでの空路輸送も行われ、多くの人員・車両を異状なく矢白別演習場へ機動させた。



海上輸送の為の公道機動(5中隊)



▲ 民間フェリーによる海上輸送 ▼

連隊は、7月6日(木)から7月12日(水)までの間、平成29年度第11戦闘団訓練検閲を受閲した。

矢白別演習場で行われた本訓練検閲では、陸・海・空路にわたる長距離機動が実施され、装軌車両については、官用車及び役務によるトレーラー輸送のほか、公道自走を伴う海上輸送により、装甲戦闘車及び戦車が千歳〜苫小牧西港〜釧路港〜矢白別演習場の間を機動した。

11戦闘団訓練検閲受閲

11戦闘団は、7月9日(日)朝の攻撃開始から、猛暑の中、激しい戦闘を展開していた。

助攻撃中隊として連隊の攻撃前進の一翼を担った第4普通科中隊(中隊長 松尾3佐(当時))、警戒部隊の駆逐等、多様な任務を遂行した第5普通科中隊(中隊長 安達3佐)等、各中隊の積極果敢な戦闘行動が続く。

その勇猛果敢な戦闘ゆえに、連隊指揮所には戦闘開始直後から、人員及び車両の損耗報告が届いた。

11戦闘団は、すぐさま編成を取り直し、態勢を整え、作戦・戦闘を継続した。

そうして迎えた7月11日(火)午前9時半ごろ、各中隊隊員の確固たる意思と戦闘行動により、戦闘団は任務を完遂した。



パトラーを準備する1中隊隊員



下車戦闘を開始する2中隊隊員



目標に向かう3中隊装甲戦闘車



陣地占領を行う重迫中隊

重迫撃砲中隊訓練検閲

9月3日(日)から4日(月)までの間、北海道大演習場恵庭島松地区において、重迫撃砲中隊訓練検閲が実施された。

夜間行進からの集結地の行動を経て、120mm自走迫撃砲砲弾射撃を実施した重迫撃砲中隊は、各小隊の綿密な連携による正確迅速な射撃を行い、訓練検閲を良好に終えた。



師団施設科部隊訓練

8月29日(火)から9月2日(土)の間、北海道大演習場において、師団施設科部隊訓練が実施され、本部管理中隊施設小隊(小隊長 星3尉)が参加した。

訓練は、92式地雷原処理車や70式地雷原爆破装置及び爆破パレットの各施設機材の障害処理訓練を実施し、各部隊の練度を把握した。

中でも8月30日(水)に行われた92式地雷原処理車練度判定において、日々の訓練成果を十分に発揮した施設小隊は、「優秀」の評価を得て、連隊長から褒章状を授与された。



偵察行動により常に部隊の先を少人数で行動する偵察部隊において、自衛手段である射撃能力は特に重要であり、その能力の高さが証明された。

偵察行動により常に部隊の先を少人数で行動する偵察部隊において、自衛手段である射撃能力は特に重要であり、その能力の高さが証明された。同訓練において偵察警戒車による実射競技会が行われ、弛まぬ練成の成果を如何なく発揮した偵察小隊は、師団二位の好成績を収め、連隊長から褒章状を授与された。

9月1日(金)から9月5日(火)までの間、偵察部隊合同訓練が実施され、本部管理中隊偵察小隊(小隊長 鈴木2尉)が参加した。

偵察部隊合同訓練



北海道大演習場 第1戦車射場



平成29年度富士総合火力演習

8月27日(日)、東富士演習場で実施された、平成29年度富士総合火力演習に、第1普通科中隊(中隊長 小林1尉)が、小隊長山下治樹2尉以下12名、車両4両で参加した。

8月14日(月)移動を完了した隊員らは、綿密な偵察、調整並びに整備を実施し、連日の反復訓練により練成を重ね、万全の態勢を整えた。

迎えた公開演習当日は、多くの観客にその成果を披露し、総合火力演習の成功に多大に寄与した。



※写真提供：普通科教導連隊 広報班

豪州射撃連隊練成訓練

連隊は、9月6日(水)から、豪州主催国際射撃競技会の選手要員を選抜する練成訓練を、第2普通科中隊(中隊長 川瀬3佐)を担任とし実施した。

各中隊から選出された選抜要員は「我こそが代表」という気概を胸に秘め、各種練成射撃に挑んだ。

選手を選考は引き続き実施され、9月末に師団の選考が、10月中旬には方面の選考が行われる。

連隊、師団、方面、引いては日本を代表する選手が選出される事を期待する。



11連隊創隊記念行事

9月30日(土)19時から、市内のホテルにおいて、前衆議院議員 和田義明様(当時)の他、千歳市長 山口幸太郎様を始め、各関係協力者等、多数の来賓の皆様にご参加頂き、第11普通科連隊創隊66周年記念祝賀会が行われた。

また、祝賀会に先立ち行われた感謝状贈呈式において、北海道ガス(株)千歳支店支店長 高橋憲司様、普通科友の会会長 斗賀山信美様、千歳ニッツウサービス(株)代表取締役社長 沼田哲平様の3名に、平素からの連隊へのご支援、ご協力に対し、連隊長から感謝状を贈呈させて頂いた。

祝賀会は終始、和やかな雰囲気で行進され、途中行われたイベントでは千歳機甲太鼓の勇壮な演奏も披露される等、創隊66周年記念祝賀会は、盛況の内に閉会を迎えた。



第35期 レンジャー養成教育

8月1日(火)から、約二カ月半に渡り、平成29年度レンジャー養成教育が実施されている。

連隊からは、第2普通科中隊 成田伸弥3曹、第3普通科中隊 東城健一郎3曹、第4普通科中隊 西沼貴典3曹、赤川紘幹士長、重迫撃砲中隊 梅津敬太3曹の5名が参加し、栄光のレンジャー章を掴み取るため、日々過酷な訓練に挑んでいる。

10月15日(日)の帰還行事には、全員が晴れてレンジャー隊員となり、凱旋する事を願う。



装甲人員輸送車浮航訓練

連隊は、9月13日(水)北海道大演習場漕舟訓練場において、73式装甲人員輸送車浮航訓練を、第6普通科中隊(中隊長 高正1尉)を基幹とし実施した。浮航訓練は、通常であれば水中移動出来ない装甲車に浮航装置を取り付け、実際に水上航行する訓練であり、連隊では、6年振りに実施された。本訓練を各中隊が研修し、浮航訓練要領を確認させると共に、実施要領の普及が図られた。



北海道ガス 隊内生活体験

連隊は、8月23日(水)から8月25日(金)までの間、北海道ガス株式会社社員12名に対し、第6普通科中隊(中隊長 高正1尉)を基幹とし、隊内生活体験を支援した。

生活体験は、天幕展開訓練、基本教練、飯盒炊飯、夜間における暗視装置体験、20km徒步行進、救急法及び格闘訓練の、盛り沢山の内容で行われた。

特に20km徒步行進では、行進開始直後に渡された5kgの砂袋を背囊に入れ込み、降りしきる雨の中、互いに励まし合いながら気力を振り絞り、全員が完歩を成し遂げた。

この隊内生活体験を乗り越えた彼らは、今体験を通じて仲間意識や協力する事の大切さ、また、最後までやり遂げた後の達成感を知り、それが今後の社会生活の糧となるだろう。



新千歳空港防災訓練及び千歳市防災訓練

9月7日(木)に新千歳空港内において防災訓練が実施され、本部管理中隊衛生小隊(小隊長 松浦3尉)が参加した。訓練は航空機事故を想定し、警察・消防・医療等との緊密な連携を図ることを目的とし、衛生小隊は、トリアージを終えた重篤患者を、ヘリコプターへと搬送する任務を担い、迅速・適切な活動を実施した。



▲千歳市防災訓練▼

また9月9日(土)には、防災学習交流施設「そなえーる」において千歳市防災訓練が実施され、第3普通科中隊(中隊長 三田1尉)を基幹としつつ、本部管理中隊衛生小隊、通信小隊、偵察小隊の隊員が参加し、装備品展示やご飯の炊き出しの他、直下型地震により被災した地域の行方不明者の捜索、患者後送等について訓練展示し、災害対処能力の向上を図った。



▲新千歳空港防災訓練▼





7月15日 千歳夏祭りオープニング



7月16日 スカイ・ビアフェスタ&YOSAKOI



8月8日 東千歳駐屯地盆踊り

千歳機甲 大鼓 各種演奏支援



8月20日 キリン北海道ビアフェスティバル



9月17日 インディアン水車まつり



9月17日 駒里夏祭り

千歳市民 納涼盆踊り大会

8月18日(金) 千歳夏祭りを締めくくる千歳市民納涼盆踊り大会が開催された。盆踊りには、市内の企業や団体等、総勢25個チームが参加し、連隊からは、連隊長を筆頭に、各中隊の有志が集い、千歳の短い夏を惜しむ様に、隊員らの熱い踊りが大会を彩った。約一時間に亘り盆踊り大会が行われ、迎えた閉会式では、千歳観光連盟会長賞を連隊が受賞するなど、盛会のうちに今年の千歳夏祭りに幕が下ろされた。



郷土伝統芸能研修 奴道中

9月3日(日)、千歳神社秋季例大祭が行われ、11連隊隊員有志が集い、郷土伝統芸能「奴道中」を研修した。例大祭当日、伝統衣装で市内を巡り、堂々とした道中ぶりを披露した隊員らには、多くの見物客から、温かな拍手が送られた。



おまつり広場にて道中ぶりを披露する隊員ら

NET99便り

意識改革その3 「自己開示」

皆さんは、「今の自分」をどの様に意識しているでしょうか？

もし、満足しているなら、何も問題なく日々の仕事や暮らしを謳歌出来ていると言うことですが、もし「不満足」な部分、例えば「目標が持てない」・「充実した日を過ごせない」・「周りに溶け込めない」など、人生そのものを否定的に捉えてしまったり、「自分に自信がない」・「能力がない」・「仕事にやる気が持てない」など自分の評価を下げてしまったりはしていませんか？

悩みの理由がハッキリしなかったり、なにか一つの理由で連鎖的に物事を否定してしまうことは良くあることです。そんな時、「自己開示(簡単に言うと「自分をさらけ出す」)」がとても効果を上げます。

信頼できる相手(家族や友人、先輩や上司・カウンセラーなど)に今の自分の気持ちを打ち明けることで、心の整理がついたり、問題が具体化されて解決策が見いだされたりしてくると、当然肯定的な考え方にもなってきます。

いきなり重苦しい話をしなくても、信頼関係がもてる相手であれば「もやもや」としている部分的なところから話し始めることで、自己開示が進みます。(特に、カウンセラーとの会話は、悩み相談ではなく「複雑に絡まった心の糸」が解きほぐされていくことを期待出来ます。)

もちろん、逆の場合(部下や後輩・同僚から話を持ちかけられたとき)は自分の価値観を押しつけるのではなく、確りと話を聴いてあげることが大切です。又、そうすることでお互いの「信頼関係」が生まれ、「組織内で横の繋がり」ができ、「団結心が構築」されて「精強部隊」へという相乗効果が生まれることにもなります。「意識改革」、人に委ねることも大切な手段です。

※偽った内容の話をしてしまうと、あとで自己嫌悪になったり、そのことで自分を責めてしまったりすることがあり、逆効果になりますので要注意です。

NET99相談員

後藤幸夫

NET99へのお申し込みは
 TEL.011-572-9900(受付0900~2200)
 メール:net99@mbr.nifty.com
 ※直接相談員へどうぞ
 11普連OB 後藤 幸夫

「普友会コーナー」

普通科友の会の会員の皆様、毎日お元気でお仕事に、あるいはボランティア活動等に又は健康管理のために趣味の会でゴルフ、パークゴルフ、卓球、バドミントン、囲碁、将棋、俳句、詩吟、民謡、カラオケ、読書、写真、散歩等で一日一日を有意義にお過ごしのこととご推察いたします。最近の過熱する国際情勢を見ますと、いっどこで何が起きるか予想できない、北朝鮮が発射し北海道上空を通過した中距離弾道ミサイル、大陸間弾道ミサイル(ICBM)などの試験発射を継続するよう指示したと、新聞テレビ等で報道されております。

北方防衛の要であります第七機甲師団、全国唯一の機械化第十一普通科連隊の皆様、毎日多種多様な任務を完遂する為、常に即応性を保持しつつ更なる精強連隊を目指し、昼夜訓練に、恒常業務に励んでおられるお姿を拝見しております。

また普通科友の会の行事には大勢の隊員の皆様が参加され行事を盛り上げていただいております、ありがとうございます。十月以降の普通科友の会の行事予定です。

十月下旬から十一月上旬に観楓会を予定しております。細部決まり次第皆様にお知らせいたします。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

普通科友の会 副会長

堀 次義

パソコンで11連隊の事が分かる！

この画面が目印 ⇒

『第11普通科連隊ホームページ』

へアクセス！

※ 逐次更新中！！



第11普通科連隊ホームページ

連隊ホームページ

検索

担当者の独り言

今年、打ち上げ花火はご覧になりましたか？
夜空を彩る色とりどりの花火も、単発だけでは物足りないですね。
それぞれの花火が、お互いを引き立て合い、盛り立ててこそ、観る人々を魅了すると思います。
仕事や仲間、家族にも同じ事が言えると思います。自分一人だけでは小さな光でも、助け合い、引き立てあえば、大きな輝きとなり得ますよね。

担当者 山川